



東京2020 NIPPONフェスティバルへの御協力について

2018年6月28日

1. 東京2020 NIPPONフェスティバルについて

2017年 2020年4月頃 7月24日~

東京2020大会の一つの大きな流れ

参画プログラムによる 大会に向けた機運醸成

東京2020 NIPPONフェスティバルの展開 (2020年4月頃~9月頃)

参画プログラムの展開



- ・大会の盛り上げを最大化
- ・様々なステークホルダーの参画
- ・国内外への発信



東京2020大会 開会式 閉会式

聖火リレー

2. フェスティバルの大きな方向性

~文化の祭典でもあるオリンピック・パラリンピック~

- 東京・日本へ世界からの注目が集まるこの時期に、東京2020大会の公 式文化プログラムとして、我が国の誇る文化を国内外に強く発信します
- 2回目の夏季パラリンピックを世界で初めて開催する都市として、大会後の共生社会の実現に向けて、多様な人々の参加や交流を創出します
- 聖火リレーを契機に、文化・芸術活動を通じてオリンピック・パラリンピックに参加できる機会をつくり、大会に向けた機運を高めます

3. フェスティバルコンセプト

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、

全国でくり広げられる文化の祭典、それが東京2020 NIPPONフェスティバルです。

日本にあらゆる国の人が集う本大会に先駆けて、

様々な人と文化が交流する場となるはずです。

地方と都市。日本と世界。

あらゆる境界を超え、ひとつになるその時。

きっと、かつてない文化が生まれるでしょう。

きっと、多様性の力と素晴らしさを実感するでしょう。

きっと、新たな文化と感動が未来につながってゆくでしょう。

その主役は、私たちひとりひとり。

そして舞台は、この国のあらゆるまちとまち。

日本各地の熱気と多様性の融合から、すべては始まります。

東京2020 NIPPONフェスティバル。それは、

この国の新たな可能性を開くフェスティバルです。

4. フェスティバルのマークについて

ロンドン2012大会では…







ロンドン大会のマーク

左2つ:エンブレム 右:フェスティバルマーク

- エンブレムから派生したロンドン2012フェスティバルの マークを制作
- 組織委員会のほか、参画した多くの団体がマークを使用し、 全国への拡がりをみせた

- ▶東京2020大会では、 フェスティバルの象徴となり、 全国へ拡がりのあるマークを目指す
- ▶エンブレムの制作者でもある
 野老朝雄(ところあさお)氏に制作を依頼



5. フェスティバルの事業体系

共催による プログラム

大会を象徴するプログラム等を国、地方自治 体と連携し実施

主催プログラム

組織委員会が主催する4つのプログラム

- ①フェスティバルキックオフ(2020年4月頃)
- ②大会直前
- ③大会移行期間
- 4復興

("7月頃)

("8月頃)

("5~7月頃)

6. 自治体と連携する文化プログラム

連携の趣旨

東京・日本に注目が集まるこの機会に、自治体と組織委員会が連携することで、日本が誇る様々な文化・芸術を国内外に強く発信するとともに、大会に向けた機運を共に盛り上げる

プログラムの実施イメージ

大会を象徴し、レガシーとして語り継がれるような特別なプログラム

- ▶ 国内外から多くのアーティストが集まり地域を越えて多様な参加・交流を生み出すプログラム、異なるジャンルの融合等により新たな文化芸術を創造するプログラム
- ▶ オリンピックからパラリンピックの移行期間に、障がい者等の多様な背景を持つ人々が参画する大規模なアート・パフォーマンス活動(パラリンピックムーブメント)
- ▶ 聖火リレーなど、東京2020大会関連イベントと連動しながら、地域の文化・芸術を 発信するプログラム(大会との関連による盛り上げ)

<対象団体>

- ▶原則、**国・自治体(都道府県、市町村)及び東京2020大会パートナー**を対象として検討しています。
 - ※実行委員会等に自治体が参加している場合等も含みます。

<参画いただく方法>

- ▶「組織委員会との共催」により、自治体の皆様との連携を検討しています。
- ▶自治体が事業の企画・運営の主体者となることを想定しています。
 - ※共催の場合、競技会場がない都市であっても、**大会エンブレム付フェスティバルマーク**が使用可能になります。

<共催プログラムの基準等>

▶共催プログラムについては、各自治体から組織委員会にご提案をいただき、必要な企画調整等 を実施の上、フェスティバルコンセプトの体現をはじめ、今後お示しする諸条件に合致したも のを対象とし共催契約を結ばせていただくことを検討しています。

<参画いただいた自治体への支援について>

(組織委員会との連携)

- ▶大会エンブレム付フェスティバルマークをはじめとしたPRツールを提供させていただきます。
- ▶東京2020大会の公式文化プログラムとして、組織委員会が国内外に情報発信します(特設WEBサイトでの発信、海外メディアへの情報提供等)。
- ▶ (必要に応じて)有識者から、オリンピック・パラリンピックの理念やプログラムに関する助言の機会を設けます。

(国・組織委員会との連携)

- ▶文化庁と組織委員会が連携し、フェスティバルへの参画を希望する自治体には、既存の制度等を活用した支援方策を検討しています。
- ▶国と連携した広報・PRを検討しています。

<プログラムの協賛等について>

▶計画されるプログラムに、東京2020大会パートナー企業以外の企業が協賛・協力等 により関与している場合、本フェスティバルとは連携できません。

<プログラムにおける物品等の新規調達について(共催の場合)>

- ▶プログラムの実施に当たって、新規に調達される物品等は、適用法令に抵触しない範囲で、大会パートナーに調達機会を提供していただくことになります。
- ▶なお、既存の物品等について、大会パートナー以外の製品を使用する場合には、マスキング等の対応が必要になります。

〈東京2020参画プログラムとの対比(位置づけ)〉

東京2020参画プログラム 東京2020 NIPPONフェスティバル (東京2020文化オリンピアード) > 4年間の集大成として、大会を象徴する特別 ▶ 幅広い分野で東京2020大会とのつながりを 創り、2020年に向けた全国での機運醸成を4 な文化プログラムを実施 年間かけて行う ▶ 組織委員会と共催することで、国内外への ▶ 草の根の文化プログラムまで広く連携し、あ PRを強化(リーフレットの制作、海外メ ディアへの情報提供等) らゆる団体の参画を促進 ▶ アクション(事業・イベント等)を認証し、 ▶ 東京2020大会関連イベントと連動し、オリ ンピック・パラリンピックへの参画感をこれ WEBサイト等で紹介 まで以上に創出

8.今後のスケジュール(予定)

2018年		2019年				2020年	
7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4月-
7上 フェスティバル 計画概要公表	共催基準等 周知	 	き期間 受けて受付・訓 在認されたもの 定の締結等			広報・PR 期間	フェスティバル期間

【参考】組織委員会が計画している文化プログラム

東京2020においても、フェスティバルの盛り上がりが全国に波及するよう、 東京を中心に大規模な文化プログラムを計画しています。

ラーマ (位置づけ)		概要		
2020年4月頃 (キックオフ)	大会に向けた 祝祭感	東西を代表する無形文化遺産・舞台芸術の融合による世界初の舞台を2020年の東京で実現		
2020年7月頃 (オリンピック直前)	参加と交流	日本文化を通じて様々な人々が交流する場・イベントを創出。 世界の心を一つにするフィナーレ		
2020年8月頃 (パラリンピック直前)	共生社会の実現	障がい者やLGBTの人々を含めた多様な個性を持つ人々が参画 し、街中で様々なアートやパフォーマンス活動などを展開		
2020年5月~7月頃 東北復興		東北各県と連携し、東北各地・東京を舞台とした文化プログ ラムを展開。国内外へ東北の現在の姿と感謝のメッセージを 発信		

【参考】過去大会との比較

	ロンドン2012大会	東京2020大会		
名称	London 2012 Festival	東京2020 NIPPONフェスティバル		
概要	➤ 文化オリンピアードの集大成として、「Once in a lifetime」というコンセプトを掲げ、様々な団体と連携しながらプログラムを展開	▶ 東京2020参画プログラムの集大成として実施▶ 国や自治体とも連携し、オールジャパンでのプログラム展開を計画▶ 組織委員会においても大規模な主催プログラムを検討中		
会期	2012年6月21日~9月9日	2020年4月頃~9月6日		
プログラム数	約300プログラム (自治体、文化団体との連携含む)	全国で多くのプログラムを展開予定		
聖火リレーとの連携	なし	連携によりプログラムを全国へ展開		

本日の依頼事項

▶「東京2020 NIPPONフェスティバル」への、貴自治体の参画 をご検討いただきたい

(2018年秋ごろを目途に共催基準等を周知予定)

※ご検討いただくに当たって、不明点等がありましたら以下までお問い合わせください。

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 企画財務局アクション&レガシー部 文化担当

TEL: 03-6631-1967